

やったあ
幌内鉄道が
白石にも
開通したぞ



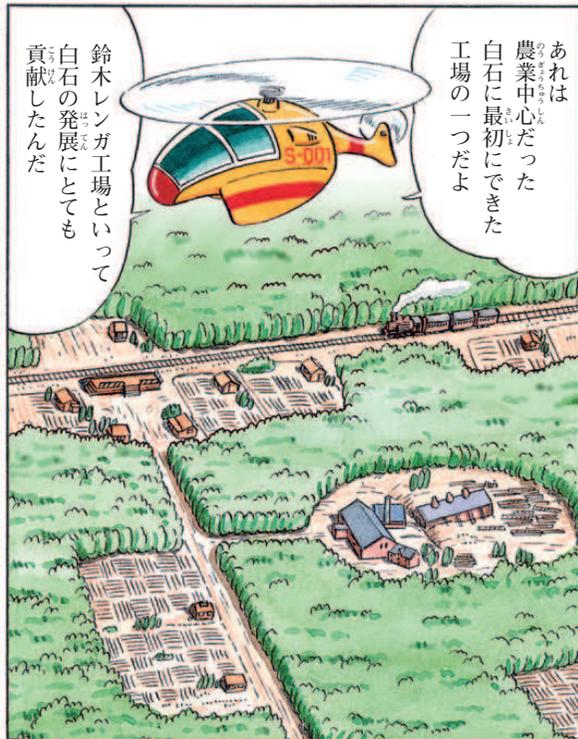
あれが
白石駅
だ！
あれっ
駅のそばに
工場みたいな
建物ができ
てるぞ



どんどん
白石村も
発展して
いくのね！！



へえっ
白石で
レンガを
作ってた
なんて
初めて
聞いた
今は
ないからね



あれは
農業中心だった
白石に最初にできた
工場の一つだよ
鈴木レンガ工場といって
白石の発展にとても
貢献したんだ



白石のレンガ工場は
明治十五年に
駒沢小平という
人が白石の粘土が
レンガに
適していることを
発見し、製造して
みたことに
始まるんだ



おまけにここなら
レンガを焼くための
燃料となる林に
囲まれている
工場を造るのに
最高の土地だ



やはりこの
粘土は最高だ
良い
レンガができた！

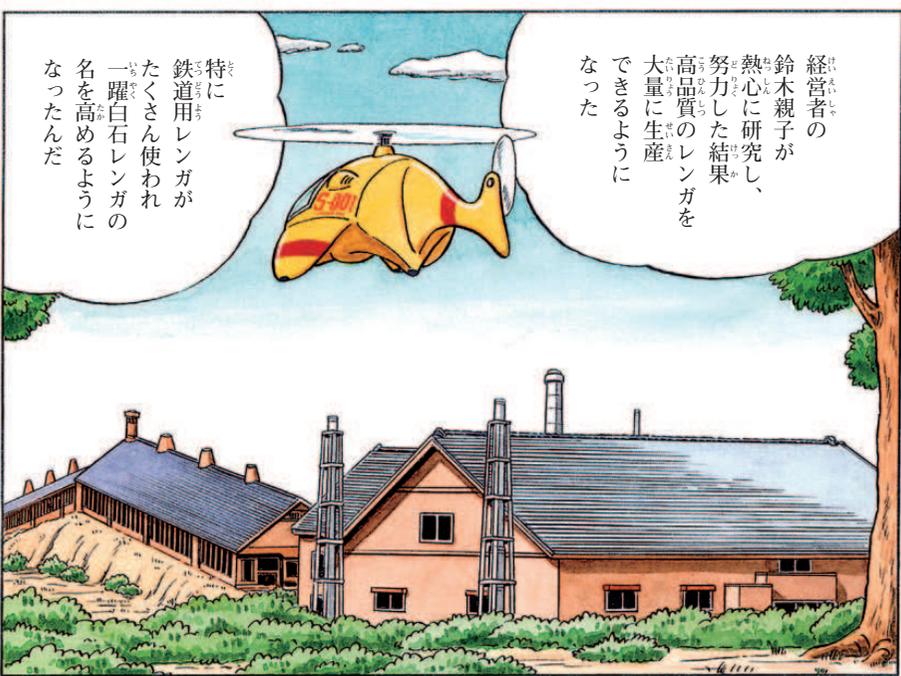


さらに
明治十七年に
鈴木レンガ工場が
創業する
レンガは
必ず
発展する
仕事だ

息子の豊三郎 鈴木 佐兵衛



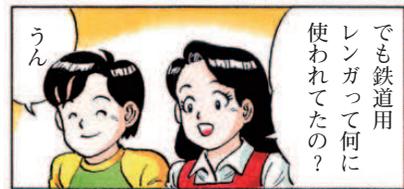
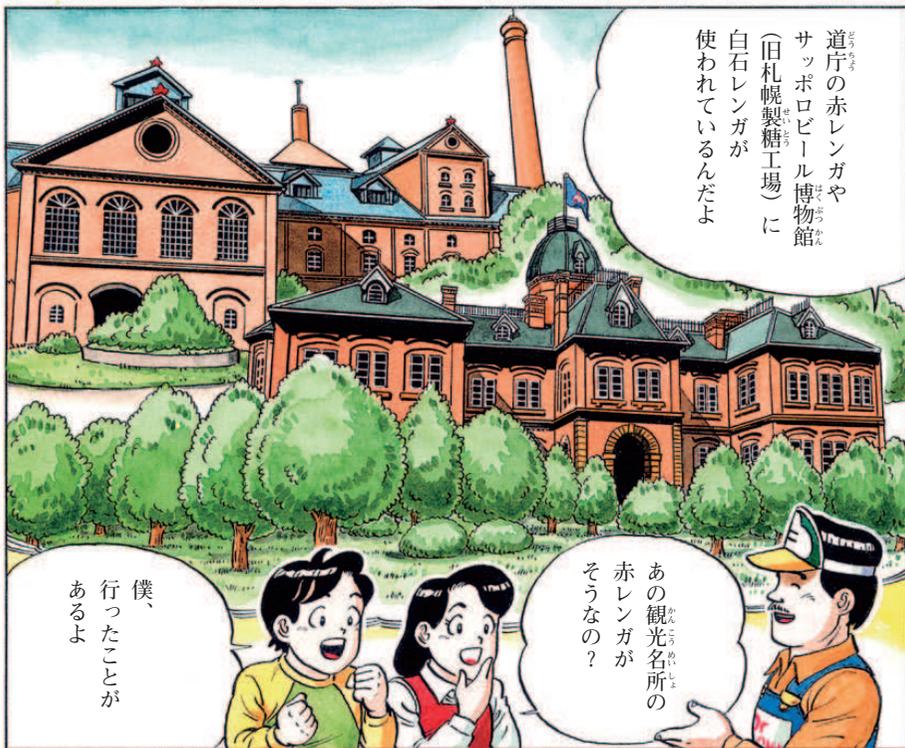
しかし
米と同じで
最初は
うまくいか
なかった
品質にムラがあつて
商売にならない



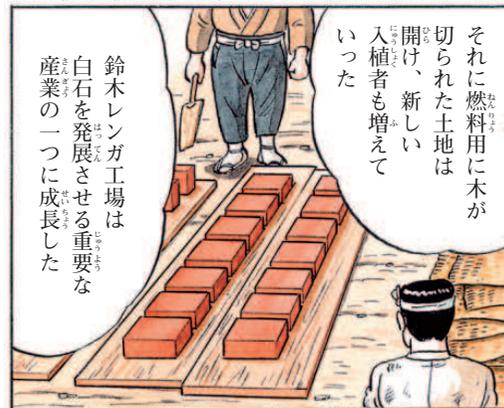
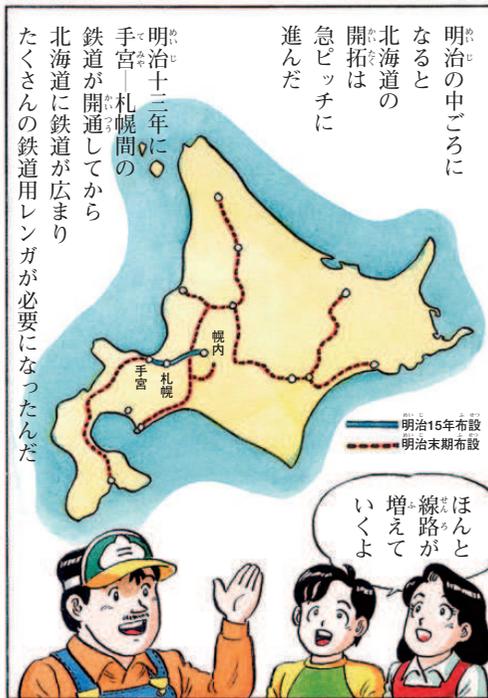
経営者の
鈴木親子が
熱心に研究し、
努力した結果、
高品質のレンガを
大量に生産
できるよう
なった
特に
鉄道用レンガが
たくさん使われ
一躍白石レンガの
名を高めるよう
になったんだ

※白石駅…開拓使が廃止されて、幌内鉄道は明治16（1883）年、工部省に引き継がれたのち、さらに北海道炭鉄鉱道という会社に引き継がれて、明治27（1894）年8月に厚別駅ができ、明治36（1903）年4月に白石駅ができた。

※幌内鉄道…幌内の石炭を小樽の手宮港に運ぶため、開拓使が作った北海道最初の鉄道で、全国でも新橋～横浜、大阪～神戸に次いで3番目。明治13（1880）年から工事を始め、機関車義経号や弁慶号が走り、明治15（1882）年11月に全線開通して、白石には簡易停車場が置かれた。



※橋脚…橋をささえる柱



↑レンガの型になったら太陽の光で乾かし、窯で焼く

